



大内中だより

# さつきの丘

【学校教育目標】

「あいさつ日本一を目指して」

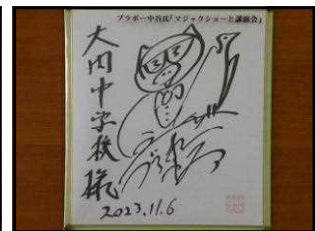
令和5年11月9日 第30号

## 言葉は現実化する … ブラボー中谷さん「マジックショーと講演会」

11月6日(月)にブラボー中谷さんを講師にお招きし、「言葉は現実化する」という演題でマジックショーと講演会を開催しました。この講演会は、大内地区PTA連合会とCS大内地域運営協議会が主催しています。大中生と保護者、そして岩谷小と大内小の6年生も加えた約250名が参加し、楽しい時間を共有することができました。

ブラボーさんは、秋田弁を駆使しながら得意のマジックを披露してくださいました。また、会の中盤では、マジックに始めたきっかけから現在に至るまでの、自分の半生について赤裸々にお話してくださいました。その内容を抜粋して紹介します。

- ・時間は早く過ぎるので、好きなこと、やりたいことを見つけて、一生懸命にやって、人生を生きようがいい。
- ・今日から、絶対にマイナスの言葉を話さないようにしてください。「ばか」とか、「死ぬ」とか、「うざい」とか。それを言わないようにしてください。逆に、「きれいだな」とか「楽しい」とか「おいしい」とか、プラスのことを話すようにしてください。
- ・やりたいことがあったら周りに話すこと。はじめは「ほら吹き」とか言われるかもしれないが、周囲の人に話すことで、目に見えない力が働いて、仕事を紹介されたり、応援されたりするようになる。
- ・幸せになりたいと思うなら、幸せと気付く心をもつようにすればよい。小さなことに幸せを見つける能力を手に入れてほしい。
- ・目の前にいる人がどうすれば喜んでくれるのかを常に考えてほしい。そんなことを思っていると絶対にいじめは起こらないと思う。そういう気持ちで生活してほしい。



## 「人を通して本を知る 本を通して人を知る」 校内ビブリオバトル

図書委員会が主催するビブリオバトル(知的書評合戦)が11月8日(水)に行われました。このビブリオバトルは、公式ルールによると…

- 1 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- 2 順番に1人5分間で本を紹介する。
- 3 それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2~3分間行う。
- 4 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

今回は、〇〇〇〇さん(1年)、〇〇〇〇さん(2年)、〇〇〇〇さん(3年)の3人がバトラーとして名乗りをあげてくれました。多くの生徒が、バトラーの想いを通して、あらためて本のもつ魅力や素晴らしさを実感する事ができました。これからも本に親しみ、人生を豊かなものにしてほしいと願っています。(10/27~11/9は読書週間でした。)

## 「はだしのゲン」を寄贈していただきました

地域の方より、「はだしのゲン」全7巻(文庫本サイズ)を寄贈していただきました。いつも本校に図書を寄贈していただき、ありがとうございます。

原爆投下直後の広島の変わり果てた街の様子、苦しみ亡くなっていく人々、そして主人公ゲンが戦後の広島を懸命に生き抜く姿が描かれています。あらためて平和について考える機会として、あるいは昭和の歴史に関わる資料として、多くの生徒に読んでほしいと思います。

